明を求めたのか。 ②同一団地内で住 されない。市は国に対し説 視した飛行訓練は決して許 題について、①横田基地 す中で、住民への安全を無 短期間に緊急着陸を繰り返 属のCV‐22オスプレイが 在日米軍横田基地 め、 等の中で実現した協定のた 対応を申し入れているが、 について要請を重ねていく。 ③日米間の話し合いや要請 引き続き要請を重ねていく。 ターの見直しなど国による 引き続き抜本的な改定 在日米軍横田基地·環境問題 境の整備に取り組んでいく。 スの促進に配慮し、 きワーク・ライフ・バラン 修を実施している。 り込んだ、マネジメント研 を今後も講じていきたい。 ②ハラスメントの内容も盛 に小便をしている 由通路上に常習的 質問 東中神駅自

しなど、改めて強騒音コンター見直 が分断されている。 宅防音工事の対象

く改善を求めるべき。

③ P

人がいる。清掃員

即刻解消すべき。

みらいネットワーク イフ・バランスについて、 市職員のワークライフバランス 市職員のワーク・ラ 青山 秀雄 答弁 防犯カメラ増設を予定して 議員 防犯対策向上のため、 も大変困惑してお

的な改善を強く求めるべき。 質検査について、日米地位 FAS漏出に伴う土壌・水 防止策の徹底などを要請し 協議会として遺憾の意を示 答弁 ①都と周辺市町連絡 協定の環境補足協定の抜本 た。②これまでも騒音コン 原因究明や再発 っている。更なる取得率の ①年休取得率が僅かに上が 取得が増進するような施策 メンタル疾患への対策とし パワハラや人間関係に伴う 向上に取り組む考えは。② て、管理職への指導状況は。 ①全ての職員の年休

市内のプール整備に 応は。②火災等の緊急時に、

は、直営のほか指定管理者 しい施設を整備する場合に 性について、見解は。②新 きるのか。 答弁 ①市ホームページ等 係る費用を所有者に請求で

能である屋内プールの必要

ているのか。また、

処理に

市が処理できる体制を整え

ついて、①一年中利用が可

き

どのような手法がふさわし いと考えているのか。 による民間活力の導入など、 ①近年の猛暑におけ

ほか、苦情等があった場合

いる。②緊急時に限り、所

住み続けたい昭島を

には直接所有者に通知して

で周知・啓発を行っている

る。②令和7年度 は十分認識してい 増大から、必要性 る熱中症リスクの 策定予定のスポ

ツ施設整備構想

ひえの たかゆき 議員

に検討していく。 において、引き続き総合的 立憲民主党昭島市議団都民ファーストの会・

質問 空き家・空き地の雑 有者に断った上で職員がせ

啓発すべきと考えるが、 の責任において管理するこ 草対策について、①所有者 市民に対して周知・ 対 質問 公共施設の企業利用 あるが、所有者に対する費 わない会議等に限り、 について、 用の請求は行っていない。 ん定等の対応を行う場合が 販売や勧誘を伴

目的での利用も可能となる。

持続可能な支援の在り方を

制度の再編等を含めた

答弁 ①やむを得ない場合

を引き付けるような周知に

原告の命と尊厳に関

わる

委員会の設置は、原告や弁

の連絡や相談に対応できな

努めていく。

用料の加算を条件に営利

引き続 対応するため、外国人労働

答弁 ハローワークや東京 者の活用や支援に関してど いるのか。 のような取り組みを行って

し、外国人労働者 しごとセンターなどと連携

職場環

の就業を支援して

人口は増加傾向に 質問 現在、市の あるが、将来的な いる。

いる。引き続き適正な管理 代への具体的な支援策は。 を踏まえた若者や子育て世 人口動態の見通しと、それ 大規模開発により一

に努めていく。

旨)

親子で読書の秋 マエンシス)

会館や公民館を有料で利用 管理にも役立つ。ルールを 保にもつながり施設の維持 できるようにすれば財源確 質問 騰等により利用実績の乏し い貸付型奨学金の見直しを ①昨今の急激な物価高 奨学金の再編につい

であるため、企業 を図るための施設 市民福祉の増進等 変更する考えは。 活動での利用は困 市立会館は、 とは可能か。②給 を増やしていくこ 行うとともに、更 付型奨学金の出願 れる給付型奨学金 なる需要が見込ま

目指して

きる。また、7年12月開設 業の会議や研修等に利用で 難であるが、公民館やアキ 予定のイーストテラスでは、 シマエンシスでは有料で企 定基準を見直し、出席日数 要件である5段階評価の評 れぞれの現状等を注視しつ 答弁 ①貸付型・給付型そ 等を重視していく考えは。 配置する考えは。

市内の労働者不足に 学校給食費の無償化のほか、 される。子どもの医療費や るが、その後は減少が予測 定期間は人口増が見込まれ 子ども・若者未来会議等を

の意見を反映した施策を実 通じ、子ども・子育て世代 質 問 充実していく。

優しさあふれるまち

づくりについて、

楽しいまちづくりについて 多様性と意外性のある

派 なかお フミヒト 議員

ウォーカブル推進

置する考えは。②

都市について、

考

施している。 に核のリスクと平和の重要 みについて、①子どもたち 質問 非核平和への 間など教育活動全体を通し けた今後の取り組みは。 ているのか。②核廃絶に向 性を伝える平和教育は行っ ①総合的な学習の時 取り組 戦 答 弁 取り組みを進めていく。 識して策定しており、その タープランの検討時にウォ あり、設置については困難 実現を目指し、機を捉えた ーカブルなまちづくりを意 性がある。②都市計画マス 理経費など財政的な課題も ①整備費用や維持管

重要と考える。①小中学校 方を変える仕組みづくりが するため、制度として働き ついて、貴重な人材を確保 効果的な制度となるよう、 質問 教員の働き方改革に 更なる検討を深めていく。 度設計となっており、より 性や得意分野を尊重する制 検討していく。 ②生徒の個 質問 き続き都に要望していく。 について、①体験活動を更 い等の課題があるが、教員 に増やす考えは。②応募の 大きな効果があるため、 軽減や安定した学校経営に っていく。②副校長の負担 必要に応じた設定変更を行 の負担軽減の視点に配意し、 小学生国内交流事業 少ない男子児童に · 引

奨学金の再編について 派 永井 みつる 議員

工夫しては。

①引き続き

対するPR活動を

始時間を令和8年度より一 は。②副校長補佐を全校に 律午後5時に変更する考え の自動応答メッセージの開 るよう、 く活動する写真を採用する 募集チラシへ交流先で楽し など、男子・女子双方の心 て協議・ 参加児童の記憶に 検討していく。 運営協議会におい 残る交流活動とな

平和の重要性について理解 争の悲惨さや核兵器の脅威、 3面下段より

反対

押しができなかったことは、正促進の国会議員連盟の後

書の提出を通して再審法改

を深めている。②「核と平

みらいネットワーク 捜査機関による数々の証 議員 青山 秀雄

大変残念である。

を中心に平和事業を継続し、 和を考える市民のつどい」

パークに屋根を設 ①既設のポケット 根本原因と考える。 拠のねつ造等が、袴田 の再審までに時間を要 市議会として意見 した 事件 委員長報告に反対する。 らないとの立場を明らかに いう不安を繰り返してはな えん罪に巻き込まれると 本陳情を不採択とする

引き上げの再 国に求める意見書提出の陳情を不採択 訪問介護報酬 とする委員長 改定を早急に行うことを 引き下げ撤回と介護報酬 報告について

反対

護の要であり、訪問介護のている。訪問介護は在宅介

崩壊は要介護者とその家族

日本共産党昭島市議団 大野 ふびと

業が過去最多を記録し 報酬が引き下げられたる ービス基盤の崩壊が加 により、事業所の倒産や廃 令和6年4月に訪問 こと 介護 サ めの社会基盤は国が責任を 持って支えるべきと考え、 の生活を根底から脅かす。 本陳情を不採択とする委員 長報告に反対する。 尊厳ある生を全うするた

持っている。 提供体制の持続に危機感を

反対

受けられない事業者が 等により、介護サービ 等に伴う介護給付費の膨張 中、地方自治体でも高 みらいネットワーク 八材不足で全ての依. 林まい子 スの 齢化 ある 頼を 方自治体ごとの対応には限な対応が急務であるが、地 める本陳情の趣旨に賛同し、 界がある。国に意見書を求 心して仕事に携われるよう介護報酬を引き上げ、安 委員長報告に反対する。

利用者に対する 実現を求める言 情を不採択と 最高裁判決 する委員長報告について **怠見書」の採択に関する陳** る速やかな被害回復措置の に基づきすべての生活保護

反対

2

日本共産党昭島市議団 佐藤

議員 取り組むべき。また、専門め、被害の回復に具体的に 謝罪と違法状態の是正を進判決の下、国は一刻も早く

5面下段へ続く